

私たちのホームページができました

下野市自然に親しむ会

私たちは、下野市を中心に自然に親しむ活動を楽しみながら行っています。
また、多くの人やチームとつながって自然を守り、壊れた自然を取り戻す活動をしています。

<https://shimotsuke-nc.org>



Shimotsuke Nature Club

しーちゃん

せん君

私たち「下野市自然に親しむ会」のホームページは、皆様のご協力をいただき

2022年1月1日に一般公開することができました。

このホームページは「自然に親しむ活動を楽しみながら、多くの人やチームとつながって自然を守り、壊れた自然を取り戻す」という会の設立目的を達成するために、多くの皆さんに当会の活動を知っていただき、一人でも多くの皆さんと活動をとりたいという思いで制作しました。

まずは、仲良く楽しく活動をしていくための情報交換の手段として皆様のご意見やアイデアをいただきながらより良いホームページとしていきたいと考えています。みんなで作るホームページです。よろしくお願いします (大橋正徳)

「地蔵山で自然と遊ぼう！」

SAVE JAPAN プロジェクトのイベント第1弾を開催

2021年12月4日、市内薬師寺地区の地蔵山でSAVE JAPANの初のイベントを開きました。参加者は11組34名。スタッフは16名。総勢50名という大変大きなイベントになりました。イベントでは3つのことをしました。

① 落ち葉さらい（カブトムシのベッドづくり）

3つの班に分かれて、小道の落ち葉をみんなでさらいました。落ち葉さらいをしたことのない子どもたちも多くて大はしゃぎ。落ち葉を両手や熊手でかき集めたり、集めた落ち葉をブルーシートで運んだり、落ち葉入れに入れたら、その山の上で落ち葉を踏み踏みしたり。「もっとやりたい」との声も。

② リースづくり

リース作りの先生に習いながら作りました。会員が作ったアケビのリースの土台の上に、地蔵山の杉やシラカシの葉、会員が集めたナンテン、ヘクソカズラ、ヤマノイモの実などを乗せてワイヤーで固定します。とても立派なリースができて、皆さん、満足そうな表情でした。

③ 焼き芋でティータイム

キャンプストーブでじっくりと焼いた焼き芋は、ほくほく。サツマイモは有機栽培部会が提供の無農薬のもの。「おいしい」とあちこちから声があがりました。

（中村節子）



力を合わせてがんばるぞ!



冬はやっぱり焼き芋!



クリスマスリースにどうかな?



ワイワイ、ガヤガヤ集合写真

SAVE JAPAN プロジェクトのイベント 第2弾

「ジャコウアゲハをお宅によびませんか」イベントを開催しました

2022年3月27日に、蔓巻（つるまき）公園で、SAVE JAPAN プロジェクトとしては2回目のイベントである「ジャコウアゲハをお宅に呼びませんか」が開催されました。当日は、6名の本会の会員のお手伝いのもと、2組の親子、1組の夫婦（しかも壬生町から）、3名の高齢の方、と多彩な参加者を迎えることができました。



当日は、お天気に恵まれ、10時前から参加者が続々と集まりました。まずは研修棟で平澤会長の挨拶のあと、担当の杉浦がジャコウアゲハとその飼い方について、スライドを使って説明しました。その後は外に出て、一組にひとつずつのプランターに、2-3株のウマノスズクサを植えました。そのプランターは各自お宅

に持ち帰ってもらいました。

4月になるとウマノスズクサが伸びて、そこにジャコウアゲハが卵を産みに来るという算段です。皆、楽しみにしているとのことでした。（杉浦健夫）



ウマノスズクサについての注意点を説明しました

みんなで楽しく植え付け中

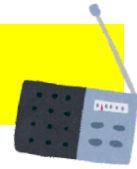


これってなんだろう？

黒いバラ？ いいえ、キノコです。名前はカワラタケとい
います。毒はありませんが、食用には適しません。名前の
とおり、屋根瓦のように多数重なり合って生えています。
祇園の住宅街の植え込みで見つけました。街中でもこんな
大きなキノコが育つのですね。目を凝らすと面白いものが見
つけられるかもしれませんね。（平澤幸彦）



公民館ラジオ講座 「下野市の自然を楽しもう♪」



2021年度の南河内公民館講座で、3回にわたり、3人の会員が下野市のコミュニティラジオ、「FM ゆうがお」に生出演しました。この講座は事前に申し込んだ人に資料を送って、当日聞いてもらうスタイルです。時間は約30分。お相手は大島三樹子さん。

第1回 植物の話 6月11日



平澤 幸彦さん

前半は下野市で見られる珍しい花の話をしました。トウサワトランオとワタラセツリフネソウ、カザグルマは、下野市の誇れる植物ですね。

後半は、普通に道端で見られる花について。まずはツククサ。ツククサは1つの花の中に3種類のオシベがあります。どんなことがあっても子孫を残そうという作戦なんです。他に、カラスウリの花の話もしました。夕方から夜にかけて咲くレースのような花です。草の中の女王様だな～と思っています。ネジバナやヘクソカズラも形やにおいなどが面白いですよ。

気になる植物を見つけたら、花にもあだなをつけてもいいと思います。青い花なら「青ちゃん」、トゲトゲしていたら「チクチク君」みたいに。あだなをつけると花ともっと仲良くなれますよ。本当の名前は後から図鑑で調べてみましょう。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

第2回 昆虫の話 7月9日

蝶の話をしました。蝶は花の蜜だけでなく、クヌギなどのどんぐりの木の樹液にも集まります。

幼虫の時は種類によって食べるものが違います。モンシロチョウはキャベツ類、キアゲハはセリ科の植物、アゲハ蝶は山椒やかんきつ類などですね。小金井の一里塚にエノキという木がありますが、そこには、オオムラサキ(国蝶)や生きた化石といわれるテングチョウ、ゴマダラチョウ、タマムシなどが集まります。



手塚 英男さん

お花見ができなくなるかもしれません。特定外来生物のクビアカツヤカミキリは、繁殖力が強く桜などのバラ科の樹木に卵を産み、幼虫が木の中を食い荒らします。被害が進行すると木は枯れてしまいます。現在、小山市、栃木市など県南で確認されています。

(2021年7月27日壬生町でも確認)

恐竜の子孫といわれている動物はなんでしょう？ 実は鳥なんです。近年、羽毛のある恐竜の化石が次々と発見され、恐竜から鳥への進化の過程が分かってきました。6600万年前に恐竜は絶滅しましたが、鳥だけが現代まで繁栄してきたんですね。



保坂 安美さん

鳥は移動のスタイルから5つに分けられます。

1. 留鳥（りゅうちょう） 1年中日本にいます。スズメ、カラスなど。
2. 夏鳥 日本より南で越冬し、日本に春に来て繁殖します。オオルリ、ツバメ、カッコウなど。
3. 冬鳥 日本より北で繁殖、日本で越冬。マガモ、ジョウビタキなど。
4. 旅鳥 日本よりも南で越冬し、日本よりも北で繁殖。シギ、チドリなど。
5. 迷鳥 名前の通り、迷ってきた鳥。本来日本にはいないはずの鳥。オニカッコウなど。

鳥を観察するには、まずはよく見ることです。例えば私たちは「スズメだ」と思うとそこで見るとをやめてしまいます。本当の観察はそこから始まります。まっすぐ飛ぶか、波打って飛ぶかなどの飛び方、鳴き声や、羽ばたき方、姿勢、いる場所、地面の歩き方、などに注意して観察してみてください。

（ラジオ番組の内容は、当日使用した読み原稿を元に中村節子が抜粋・まとめをしました）

2022年度もラジオ講座があります。10月2日、10月9日、10月16日（すべて日曜日）の18:00~18:30です。お楽しみに。



この本おすすめ



『葉で見わける樹木』 林 将之 著 小学館
「この木は何の木だろう」と思った時に、その木に花や実が無い時はありますよね。そうすると何から調べたらいいのだろう？ってお手上げ状態。でも、この本なら、葉で木を見分けられるので、ほぼどんな時でも調べることができます（冬の落葉樹はダメですが）。

① 葉の形 ②葉のつき方 ③葉のふちの形（ギザギザがあるかどうか） ④落葉か常緑か。
この4つのポイントでグループ分けしてあるので、調べるのが簡単です。まずは本屋さんで見てください。（中村節子）

皆様の原稿をお待ちしております。nakmamura.setsuko1964@gmail.comまでお願いします。